

令和8年度第1回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	令和8年4月8日（水）午後1時30分から		
開催場所	奈良市役所 中央棟5階 秘書課会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	真銅副市長 小西総務部長 奥村法令遵守監察監 谷田市民部長 秋田環境部長 増田都市整備部長 稲場建設部長 若林教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人 2人）	担当課	都市計画課 子ども育成課
議題 又は案件	案件1. 奈良市都市計画見直し業務委託 案件2. 生成AIによる子育て世帯SNS相談事業		
決定又は取り纏め事項	すべて採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>案件1. 奈良市都市計画見直し業務委託</p> <p>1. 議事の概要</p> <p>(1) 業務の目的</p> <p>本市では、令和7年3月に「奈良市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画」を策定したところである。一方で、平成23年5月を最後に用途地域等の具体的な都市計画見直しを実施していない状況にあり、近年の人口減少・少子高齢化の進行、都市機能の分散化等を踏まえた対応が求められている。</p> <p>本業務は、上記計画で示された将来都市構造の実現に向け、本市の都市構造、土地利用、都市機能の分散等の現状を多角的に把握、整理したうえで、現行都市計画の実効性を検証し、客観的なデータに基づき課題を明確化するものである。そのうえで、用途地域の見直し等の実効性の高い都市計画の見直し方針を整理することを目的とする。</p> <p>(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由</p> <p>本業務は、都市計画に関する高度な専門的知見を要するとともに、人口動態や土地利用、都市機能の分布等に関する多様なデータを活用した分析力及び、これらを踏まえた実効性の高い方針立案能力が求められる業務である。</p> <p>また、都市計画の見直しにあたっては、単なる資料整理にとどまらず、現況分析に基づく課題の抽出、優先順位の設定、及び実現可能性を考慮した見直しの進め方の検討等、受託者の技術力や提案力により成果の質が大きく左右されるものである。</p> <p>さらに、本業務は令和7年3月に策定した都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の実現に向けた具体化の検討を行うものであり、これら上位計画との整合性を踏まえた高度な提案が求められる。</p> <p>以上のことから、価格のみによる競争入札ではなく、業務の実施体制、実績、技術提</p>			

案内容等を総合的に評価し、最も適切な事業者を選定する必要があるため、公募型プロポーザル方式を採用するものである。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。

案件 2. 生成 AI による子育て世帯 SNS 相談事業

1. 議事の概要

(1) 業務の目的

近年、奈良市における子育てに関する相談件数は増加傾向にあり、特に夜間や休日など、従来の窓口対応時間外における相談ニーズの高まりが顕著となっている。

こうした状況を踏まえ、児童虐待の未然防止や早期発見につなげることを目的として、市民に身近なコミュニケーションツールを活用し、妊娠・出産・子育て等に関する様々な悩みや不安に関して相談等の支援を行い、適切な相談窓口の紹介や具体的な対応方法等の提案を行うとともに、24 時間 365 日いつでも相談ができる環境を拡大することにより、こども家庭センターの相談体制の充実と児童虐待の未然防止を図る。

(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由

生成 AI による子育て世帯 SNS 相談事業にあたっては、事業者それぞれの強みや独自のアイデアを活かした提案を受けることで、本市が想定していなかった革新的な解決策を見出せる可能性があります。また、業務実績や遂行能力など総合的に勘案し、事業者を決定することで、より質の高いサービスの提供が可能になります。

そのため、本事業の目的を達成するためには、単純な価格競争ではなく、企画書の提案プレゼンテーションの実施による公募型プロポーザル方式を採用しようとするものです。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。